### BEST AVAILABLE COPY

(Claim 1)

An intermediate separator for a fuel cell with a plurality of cells, the separator comprising three-dimensional conductive reticulate plates and a resin layer,

wherein said conductive reticulate plates are made of carbon or metal material and have continuous pores, and

wherein said reticulate plates are integrally embedded into both surfaces of said resin layer, at least outer surfaces of said reticulate plates with said continuous pores are exposed, and inner surfaces of said reticulate plates are sealed by said resin layer to avoid penetration of hydrogen, oxygen and water.

(Embodiment, page 6, line 12 through page 7, line 15)

As shown in FIGS. 1 and 2, the intermediate separator 1 has a structure in which three-dimensional conductive reticulate surfaces 2, 3 are integrally embedded into both surfaces of a resin layer 4. The three-dimensional conductive reticulate surfaces 2, 3 are exposed. The reticulate surface 2 is used for supplying hydrogen, and the reticulate surface 3 is used for supplying oxygen. Further, two gas inlet ports 2b, and two gas inlet ports 3b, which are not covered with the resin layer 4, are provided near the opposing corners of the reticulate surfaces 2, 3. The gas inlet ports 2b, and 3b are provided at the same side of the intermediate separator 1, but not aligned so that these can be easily used as inlet ports for different gases, respectively.

Meanwhile, a plurality of water passages 4a penetrate into the center of the resin layer 4 horizontally.

A unit cell 5 is interposed between the two intermediate separators 1 and thus makes up a fuel cell unit. The unit cell 5 comprises a solid polymer electrolyte membrane 5a and two gas diffusing electrodes attached to both surfaces of the solid polymer electrolyte membrane 5a. The gas diffusing electrodes are a hydrogen

electrode 5b and an oxygen electrode 5c. The hydrogen electrode 5b and the oxygen electrode 5c contact a hydrogen supply surface 2a and an oxygen supply surface 3a, respectively. A packing 6 is provided around the unit cell 5.

19 日本国特許庁(JP) ①実用新案出願公開

◎ 公開実用新案公報(U) 平4-18964

Sint. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)2月18日

H 01 M 8/02

9062-4K 9062-4K

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 頁)

多セル型燃料電池用中間セパレータ 公考案の名称

②実 頭 平2-58797

②出 願 平2(1990)6月5日

繁 夫 広島県広島市西区観音新町4丁目6番22号 三菱重工業株 ⑰考 案 者 長 谷 川

式会社広島研究所内

広島県広島市西区観音新町 4 丁目 6番22号 三菱重工業株 嶋田 隆文

式会社広島研究所内

東京都千代田区丸の内2丁目5番1号 三菱重工業株式会社 の出 額 人

外1名 砂代 理 人 弁理士 光石 英俊

### 明 細 書

1. 考案の名称

多セル型燃料電池用中間セパンータ

- 2. 実用新案登録請求の範囲
  - (1) 炭素材若しくは金属からなると共に連続気孔を有する導電性三次元網目構造板からなり、少なくともその両外側面に連続気孔面を残留していると共に内部面間に水素、酸素及び水の透過を防止せしめる樹脂層を介在させて一体化してなることを特徴とする多セル型燃料電池用中間セバレータ。
  - (2) 請求項1において、導電性三次元網目構造板の両外側端面が、それぞれ少なくとも2個所ずつの連続気孔部を残して他は水素、酸素及び水の透過を防止せしめる樹脂層で覆われていることを特徴とする多セル型燃料電池用中間セパレータ。
  - (3) 請求項1又は2において、導電性三次元網 目構造板の片面及び端面の一部を水素、酸素

及び水の透過を防止せしめる樹脂層で覆った もの2枚を、導電性の接着剤で接着し、一体 化してなることを特徴とする多セル型燃料電 池用中間セパレータ。

## 3. 考案の詳細な説明

## <産業上の利用分野>

本考案は、多セル型燃料電池に適用される中間セパレータに関する。

### <従来の技術>

ータとしている。

### <考案が解決しようとする課題>

前述した従来の金属板を用いた中間セパレータは、水素及び酸素供給用の溝や冷却水通水用の貫通孔を機械加工によって設けるため、薄肉化が困難である。また、金属の比重が大きいので、非常に重いものとなる。

さらに、上記溝及び貫通孔はセパレータの 性能面から見れば多い程好ましいが、多くの 溝や貫通孔を加工するようにするとセパレータ 製造費用が非常に高くなるという問題があ る。かかる問題は燃料電池が大容量になる程 増大するため、多セル型燃料電池開発にあた っての最大の課題となる。

本考案はこのような事情に鑑み、軽量且つ 薄型で、しかも安価に製造できる多セル型燃料電池用中間セパレータを提供することを目 的とする。

### <課題を解決するための手段>

前記目的を達成する本考案に係る多セル型

燃料電池用中間セパレータは、炭素材若しくは金属からなると共に連続気孔を有すると 講に 世三次元網目構造板からなり、少なくくるもと 内部面間に水素、酸素及び水の透過を防止せる 動き 樹脂層を介在させて一体化してなる ことを特徴とする。

てこで、炭素材からなる導電性三次元綱目 構造板は、例えば加熱すると炭化しうるフェ ノール樹脂又はフラン樹脂等に硬化剤を混合 した溶液を、例えばポリピニル・アセタール 系樹脂の多孔体に含浸させ、これを硬化した 後、非酸化性雰囲気中で加熱することによって得られるものである。また、金属製の導電性三次元網目構造板も一般的に知られているものである。

一方、水素、酸素及び水の透過を防止せしめる樹脂層を形成する樹脂は、これらの機能を発揮するものであれば特に限定されないが、上述した機能を発揮すると共に中間セパレータとして必要な強度を付与するものである。 本考案に係る中間セパレータを製造するに

また、一体成形の他、2枚の導電性三次元網目構造板に別々に樹脂層を設けた後、両者を接着するようにしてもよい。この接着には、金属粉末、グラファイト粉末を配合したような導電性接着剤を用いることができる。

## <実 施 例>

以下、本考案を実施例に基づいて説明する。 第1図及び第2図には、一実施例にかかる 中間セパレータを2枚合せて燃料電池の単位 セルを挟持した状態の外観及びそのⅡ一Ⅱ線 断面構造を示す。

に設けられているが、それぞれ異なるガスの 導入口として使用し易いように、面方向にず れた位置に設けられている。

このような構成において、水素供給面2 a 側のガス導入口2 b の一方から水素(水素含有ガス)を流入して他方から流出するようにすると、水素は水素供給面2 a から水素極5 b へ供給される。一方、酸素供給面3 a 側のガ

ス 薄 入 口 3 b の 一 方 6 b で え で で 8 c で 5 c で 6 c で 8 c で 7 c で 6 c で 8 c で 7 c で 8 c

### く考案の効果>

以上説明したように、本考案に係る燃料電池用中間セパレータは、軽量且つ薄型で、安価に製造できるので、小型・軽量な多セル型燃料電池を安価に製造できるという効果を奏

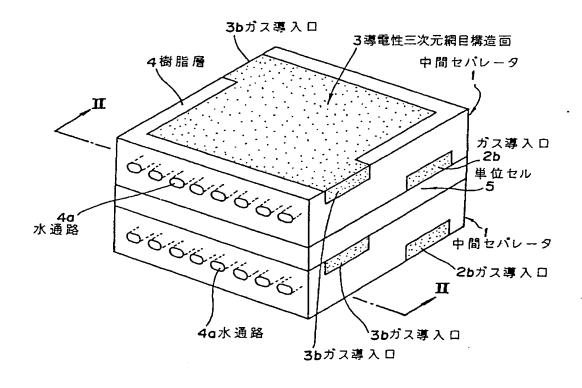
する。

### 4. 図面の簡単な説明

第1図は一実施例に係る中間セパレータを用いた燃料電池本体を示す概念図、第2図はその II — II 線断面図、第3図は多セル型燃料電池を示す概念図である。

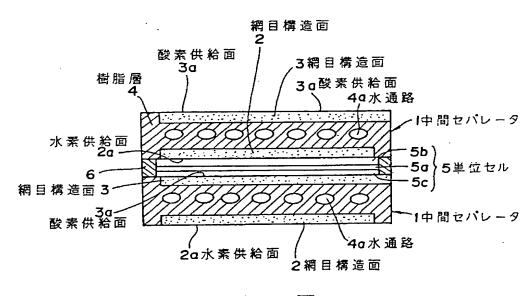
### 図面中、

- 1は中間セパレータ、
- 2,3は導電性三次元網目構造面、
- 2 a は水素供給面、
- 3 a は酸素供給面、
- 2 b , 3 b は ガス 導入口 、
- 4 は樹脂層、
- 4 b は水通路、
- 5は単位セル、
- 5 a は 固体 高分子 電解 質 膜 、
- 5 b は水素極、
- 5 c は酸素極、
- 6 はパッキンである。



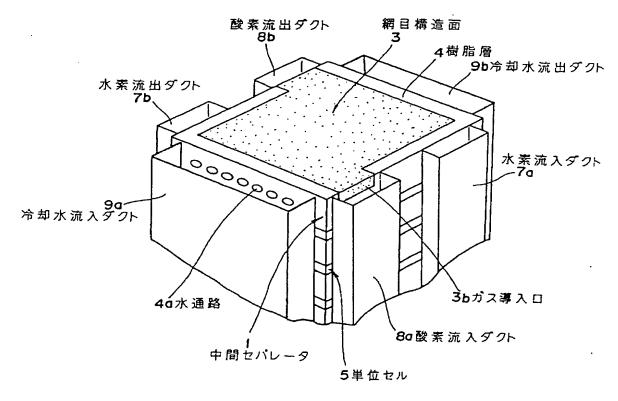
第1図

実開 4 - 1896 4 788



第 2 図

実開 4 - 1896 4 789



第 3 図

790 実開 4 - 1896 4

実用新案登録出願人 三菱重工業株式会社代理人 弁理士 光石英俊 (他1名)